

疼痛治療における臨床試験デザイン/求める薬剤プロファイル

～痛みの概念や難しい客観的な評価法を基礎から理解し、効率的な新薬開発を目指す～

◆日時：2021年06月21日(月)12:30～16:30

◆会場：【WEB限定セミナー】※在宅、会社にながらセミナーを受けられます。

◆聴講料：1名につき49,500円(税込、補助資料付)

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

- ・1名でお申込みされた場合、1名につき46,200円(税込)
- ・2名同時でお申し込みされた場合、2人目は無料(2名で49,500円(税込))

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

第一部「痛みの基本概念と治療」 12:30～14:30

講師:福島県立医科大学 医学部 疼痛医学講座 教授 高橋 直人 氏

【趣旨】

痛みは主観的で、客観的には評価ができないものであり、その上多面性を持つものです。痛みの多面性とは、1)身体における痛みの部位、強度、持続性などを識別した痛み感覚の面、2)過去に経験した痛みの記憶、注意、予測などに関連して身体にとっての痛みの意義を分析する認知の面、3)「痛み」を不快や不安、恐怖などに感じる情動や感情の面などです。痛みは、生体内の組織損傷に伴い発症し損傷の修復期間内に治癒する「急性痛」と、治癒すると予想される期間を超えて長期間持続する疼痛や疾患の進行に伴う疼痛、または長期間改善しない身体的障害に関連する疼痛である「慢性痛」に分類されます。痛みを理解する上で非常に大切なことは、「急性痛」と「慢性痛」という異なる痛みの存在を知ることであり、さらに、これら2つの痛みは病態が大きく異なるため、捉え方や対処法は変えていかなければなりません。本セミナーでは、痛みの基本概念と治療法について解説します。

【プログラム】

- はじめに
痛み(疼痛)について知っておくべきポイント
- 痛みの総論
2-1 国際疼痛学会の痛みの定義
2-2 痛みの多面性
2-3 痛みの経過による分類
2-4 国際疼痛学会の慢性疼痛の定義
2-5 急性疼痛と慢性疼痛の違い
2-6 痛みの治療法の原則
2-7 痛みの分類
2-8 疼痛の定義・区別
- 腰痛
3-1 腰痛の疫学
3-2 腰痛患者に対する初期診察のポイント
3-3 腰痛の原因
- 慢性疼痛の分類
4-1 国際疼痛学会の慢性疼痛分類(ICD-11)
4-2 機序に基づく慢性疼痛の分類
4-3 慢性疼痛患者の痛み以外の症

5.痛みの生物心理社会モデル

- 5-1 生物心理社会モデル
- 5-2 慢性疼痛の診療における生物心理社会モデルの重要性

6.痛みに対する評価

- 6-1 痛みの強度の評価
- 6-2 痛みの心理社会的因子の評価
- 6-3 痛みによるQOLの評価
- 6-4 痛みの性質に対する評価
- 6-5 その他の痛み関連の評価
- 6-6 脳機能画像による評価

7.痛みを有する患者の身体機能評価

- 7-1 柔軟性評価:長座位体屈曲位・床指間距離
- 7-2 筋持久力評価:30秒立ち上がりテスト
- 7-3 歩行能力:2 ステップテスト
- 7-4 体力:6 分間歩行テスト
- 7-5 ロコモ度判定:ロコモ25

8.慢性疼痛の治療

- 8-1 慢性疼痛の治療目標
- 8-2 慢性疼痛に対する治療
- 8-3 集学的痛み治療

9.まとめ

【質疑応答】

第二部「脊髄、末梢神経障害にともなう、疼痛治療における臨床試験に求める薬剤」 14:40～16:30

講師:東京医科大学 整形外科 准教授 博士(医学)遠藤 健司 氏

【趣旨】

しびれや痛みの研究を行う際に、まず必要なのは具体的で役に立つ情報です。歩けない、痛い患者さんの状態を知り、何をすべきかを考えることが大切です。そのために、本講義では、なるべく臨床での具体例を述べたいと思います。画像が多く、新薬、手術など最新の情報も多く盛り込んでいることが特徴です。①しびれと痛みの生理的メカニズム、慢性化機序を理解する。②代表的な疾患について、解剖生理から学ぶ。③しびれに対する、臨床現場での薬剤および外科的治療の実際を知る。ということポイントにて述べたいと思います。

【習得できる知識】

- ・最新のしびれ、疼痛に関する知見を得ることができる
- ・今後、臨床現場で何が必要とされているかを知ることができる。
- ・今後、臨床現場で何が必要とされているかを知ることができる。

【プログラム】

- 1)はじめに
- 2)脊髄、末梢神経の解剖生理
- 3)しびれ、疼痛の神経生理
- 4)代表的疾患の説明
- 5)保存療法
- 6)手術療法(ビデオなど含めて)
- 7)未来への展望

【質疑応答】

『疼痛【WEB限定】』セミナー申込書

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

Eメール 郵送

●Webセミナーの受講申込みについて●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたしまして、別途視聴用のURLをメールにお送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>